



第 1610 回例会

平成 22 年 4 月 5 日(月)

海南商工会議所 4F 18:30~

夜間例会 お誕生日、ご結婚お祝い

1. 開会点鐘

- 2. 国歌斉唱 「君が代」
- 3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 4. ゲスト紹介 青少年交換学生 ティアゴ君
- 5. 出席報告
会員総数 69 名 出席者数 46 名
出席率 66.67% 前回修正出席率 79.71%

6. 会長スピーチ



会長 花畠 重靖 君
みなさんこんばんは！
本日は地区大会ゴルフへの参加
した小椋君、桑添君、宇恵君、上中
君の 4 名の方、ご苦労様です。
また、4 月 11 日は社会奉仕委員
会の山名委員長はじめ、委員の方よ
ろしくお願ひします。

7. 幹事報告

- メーフィヤップ
和歌山東 RC 4 月 1 日 中村雅行君
- 例会臨時変更のお知らせ
那智勝浦 RC
4 月 15 日(木)→4 月 17 日(土) 18:30~
割烹やすだ (田辺市)

○仮クラブ宣言

和歌山サンライズロータリークラブ
毎週火曜日 AM7:00~8:00
ホテルアバローム紀の国

8. 青少年交換学生スピーチ

みなさん、こんばんは。毎月のサ
ポート有り難うございます。元気に
学校に行ってています。また、地区の
行事に参加し、沢山の友達と話したり、
いっぱい勉強しています。これ
からも、よろしくお願ひします。

ティアゴ君



9. 閉会点鐘

次回例会 第 1611 回例会：22 年 4 月 12 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 参議院議員 鶴保 康介様



ニコニコ・BOX



Happy Birthday



◆ 4月お祝い ◆

○会員誕生日

- | | |
|------------|-------------|
| 3 日 辻 秀輝君 | 18 日 篠嶋 利一君 |
| 4 日 林 孝次郎君 | 27 日 的場 賢美君 |

○奥様・ご主人誕生日

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 日 三木 和栄様 | 4 日 土井 富子様 |
| 1 日 上南 完子様 | 15 日 上田 としゑ様 |
| 3 日 山田 喜代美様 | 23 日 谷脇 真知子様 |

○結婚記念日

- | | |
|-------------|--------------|
| 5 日 田中 秀夫君 | 16 日 名手 広之君 |
| 10 日 中尾 享平君 | 19 日 小久 保好章君 |
| 10 日 吉川 博之君 | 23 日 山畠 弥生君 |
| 13 日 中西 秀文君 | 26 日 宇恵 宏純君 |
| 16 日 桑添 剛君 | 29 日 横出 廣君 |

○一般ニコニコ

- | | |
|---------|--|
| 大江 久夫君 | 名前間違ってすみません。 |
| 寺下 卓君 | 仕事で遅くなってすみません。 |
| 花畠 重靖君 | 昨日伊太祁曾神社で餅まきをして
きました。 |
| 宮田 敬之佑君 | 男 60 にして妻に死なれたら、男は 3
年もたないといいますが、元気です。 |
| 小椋 孝一君 | 今日は地区大会ゴルフコンペでホー
ルインワンをしました。ガケから落
ちてさんざんでした。 |
| 桑添 剛君 | ホールインワンのボールを取り出
てしまい保険が出なくてすみません。 |
| 上中 嗣郎君 | 地区大会ゴルフに参加しました。 |
| 宇恵 弘純君 | 小椋君がガケから落ちて驚きました
が無事帰ってきました。 |

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畠 重靖 幹事：寺下 卓 SAA：名手 広之





ガーナでギニア虫の撲滅を目指す

2005年以来、カナダ、ガーナ、スイス、アメリカの13地区からクラブが手を組み、カーターセンターおよびガーナ保健庁と協力して、同国からギニア虫を撲滅する活動に取り組んでいます。

これらのロータリアンは、ガーナ北部の辺境にきれいな飲み水を提供するため、財団マッチング・グラン트の支援を受けて6つのプロジェクトを実施。カーターセンターとガーナ政府が連携して実施している「ギニア虫撲滅プログラム」に参加し、井戸や水システムを最も必要とする場所の特定に当たっています。

ガーナにおけるギニア虫の発生数は、2006年の4,136件から、2009年の242件にまで大幅に減りました。今年度2月までにはわずか4件の発生しか報告されておらず、これは発生が半年に3件足らずであることを示しています。ギニア虫は、寄生虫の幼虫を含む汚染水を飲んだ人が感染する病気です。体内で成虫するまでに1年かかり、その大きさは3フィートにも上ります。その後、皮下に水泡ができ、激しい痛みを伴うため、患者は長期にわたって苦しみ、時に身体障害をもたらすこともあります。寄生虫が繁殖している地域を対象に、井戸掘りや水システム設置のためのマッチング・グラントが提供され、太陽熱による水システムを設置したり、風力発電による給水システムを敷き、遠く離れた村に水を供給しています。清浄水の提供はギニア虫撲滅活動の一環であり、これに加えて治療や教育などの活動が行われています。

井戸の修理にもロータリアンが手を貸しています。水の管理、資金の節約、井戸・水システムの維持・修理を担当する水・衛生委員会を村に設置するため、ロータリアンが援助している、とヒュー氏は述べます。

「ロータリーが強調している事項のひとつが、持続可能性です」とヒュー氏。「それを念頭に、私たちは井戸の設置を人々に呼びかけています。通常、地元の人々が活動に参加し、土地を整備したり、作業員たちに食事を提供したりと、できる限りの協力をしてくれます。ですから、プロジェクトが完了したら、これらの井戸は、単にロータリーから寄贈されたものではな



ギニア虫の入った水のボトルを見せる少女。
ガーナにて。写真提供: Walter Hughes

く、彼ら自身が作ったものであるという自覚が生まれるんです」ガーナ北部にある、会員25人足らずのタマレ・ロータリー・クラブが、2つの活動を除き、すべてのマッチング・グラント・プロジェクトの実施国側提唱者となっていました。また、創立2年のスンヤニ・セントラル・ロータリー・クラブが、残る2件のプロジェクトの提唱者となりました。「タマレのロータリアンの貢献は素晴らしいものでした。3つの州を奔走してこの病の撲滅に身を捧げています」とヒュー氏は話します。「少人数のクラブがこれほどの功績を残していることは、見事としか言いようがありません。小人数のクラブでも大きな貢献が果たせることを、身をもって実証してくれました」

インドのNIDでロータリー家族が活躍

1月と2月にインドで実施されたポリオワクチンの全国予防接種日（NID）では、ロータリーの支援者が保健要員に加わり、活動を支援しました。

1月のNIDではダライ・ラマ氏が予防接種を行い、インドで初めて二価経口ポリオワクチンが使用されました。1月7日には、デリーサウスマトロボリタンロータリークラブ（RC）

が保健キャンプを開き、活動への参加を呼びかけました。ポンベイRCとムルンドRCの名誉会員であるラジャシュレー・ビルラ氏は、世界最大手の鉄鋼製造会社を率いるラクシュミー・ミッタル氏とウシャ夫人とともに、このキャンプの開幕式に参加。ミッタル夫妻は予防接種活動に参加後、08年に夫妻が寄付した100万ドルに続き、ロータリーの2億ドルのチャレンジへ新たに50万ドルの寄付を行うと発表しました。

2月7日のNIDでは、インドの保健厚生大臣であるグラーム・ナビ・アザード氏に国際ロータリー（RI）からポリオ撲滅貢献賞が贈られ、同氏のリーダーシップを称えました。また同じ席で、ビルラ氏が5,000万ルピー（約110万ドル）を寄付し、08年の200万ドルに続く貢献を果たしました。

ポリオ撲滅活動では数々の障害に直面しますが、それを乗り越えて目標を達成するには、皆が一丸となって活動にあたる必要があると話すビルラさんは、撲滅を実現するために、継続的な努力が必要であることを訴えます。



4月はロータリーの雑誌月間です